

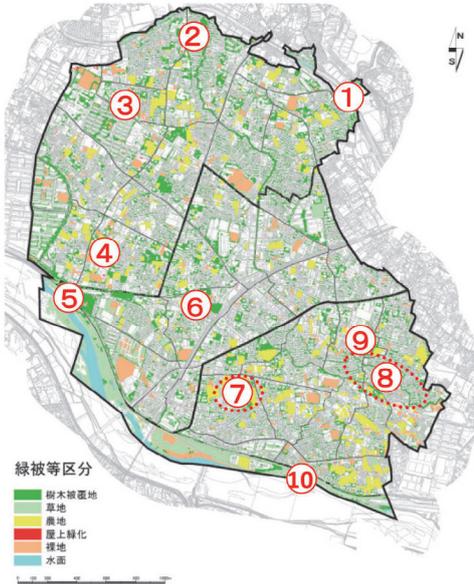
狛江市の 生きものたち

生物多様性基礎調査結果

狛江市では、
生物多様性地域戦略の策定に向けて、
市内の生きもの調査を実施しました。
調査結果の概要をご報告します！！



えこまさん



調査を行った場所

- ①野川(谷戸橋下流)
- ②西野川樹林地および野川緑道
- ③前原公園
- ④中和泉樹林地および伊豆美神社
- ⑤西河原公園
- ⑥狛江弁財天池
特別緑地保全地区(泉龍寺含む)
- ⑦農地の多い地区
- ⑧岩戸川緑道
- ⑨緑の多い住宅地
- ⑩多摩川(狛江水辺の楽校)

確認種数

平成29年8月～30年5月の期間中、春夏秋冬に各1回実施。(冬季は鳥類・ほ乳類のみ) **合計917種**を確認しました。

市街地化の進んだ狛江市ですが、まだまだ多くの生きものが身近に生息・生育していることが、確認されました。

	総数	希少種	外来種
植物	499	19	124
ほ乳類	9	1	1
鳥類	63	22	2
両生類	4	2	1
は虫類	8	6	1
昆虫類	314	6	20
水生生物	20	5	1
合計	917	61	150

市内で確認された種(一部)



生きもの
って
ふしぎ

わがまま!? 生き残り戦略? ジャコウアゲハ

今回の調査で、多摩川、野川緑道、西河原公園で確認されたジャコウアゲハ。その幼虫は、なんと!**ウマノスズクサ**という東京都等で希少種になっている草の仲間だけを食えます。

今は珍しくないジャコウアゲハも、餌がなくなれば、あっという間に絶滅してしまうかもしれません。**危うし! ジャコウアゲハ!!**

ジャコウアゲハは、**ウマノスズクサ**に含まれる有毒物質を体内に蓄積し、その毒のために鳥などの天敵におそわれにくいとされています。好き嫌いではなく、**身を守る戦略**だったんですね!



(写真左)
ヤブガラシの花の蜜を吸うジャコウアゲハのメス
(写真右)
ウマノスズクサに産みつけられた卵

狛江にも?!

増殖中! 外来種

実は身近に?!

今回の調査で、多くの**外来種**が確認されました。人間によって本来生息しない地域に持ち込まれた生物を「**外来種**」と言いますが、**外来種**は地域に昔から生育・生息する生きもの(**在来種**)、地域の生態系に悪影響を及ぼす可能性があります。

悪影響が広がらないように、**外来種**を野外に放さない、他地域に持ち出さないなど、みんなで気をつけましょう!

ほくらも、すきて日本にきたわけじゃないんだけどな

市内で確認された外来種(一部)



ミシシッピアカミミガメ